

食物経口負荷試験


を受けられる方へ

- ◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前 @ {Patient.Name} 様

主治医

説明看護師

日付	入院前日までに	負荷試験			退院後
		試験前	試験中	試験後	
目標・退院基準		・経口負荷試験の検査内容や注意事項について理解している	・ボスミン使用に至るアナフィラキシー症状(血圧低下・呼吸が苦しくなる、意識が朦朧とする)が出現しない ・アレルギー症状が早期のタイミングで発見・対処される ・経口負荷試験中の制限を守ることができる	・遅延型のアレルギー症状が早期のタイミングで対処される	・アレルギー症状が出現した際にご家族が速やかに病院へ連絡ができる
検査	ありません	経口負荷試験を行います。			
処置	ありません 	指にモニターの装着をします 検温(体温・血圧・聴診器での呼吸音の確認)を行います	少量ずつ間隔をあけて負荷試験の食材を摂取します 30分おきに検温を行います アレルギー症状が見られたら、医師の診察後、内服や酸素投与、吸入などを行います	医師の許可後にモニターが外れます	ありません
注射	ありません		アレルギー症状が見られた際は、症状を抑える薬を使う目的で点滴をとる場合があります		ありません
内服薬	医師の指示がある場合は、普段飲んでいる抗アレルギー薬は中止してください	内服薬を確認します アレルギー症状が見られた際にすぐに使用できるよう、オーバーテーブルに置いておきます	アレルギー症状が見られた際は、症状を抑える薬を内服する場合があります		普段通り内服してください
食事	朝食は食べすぎないようにしてください 指示がある場合は、負荷試験の食材を持参してください		試験用の食べ物以外は食べられません	医師の許可が出たら昼食が食べられます	制限はありません
飲水制限			医師に許可された物を飲んでください	医師の許可が出たら制限はありません	制限はありません
活動	安静度	トイレ以外は病室でお待ちください	ベッド上で安静に過ごしてください	病棟内で過ごしてください	制限はありません
	排泄	事前にトイレを清ませておいてください 	トイレに行きたくなったら看護師に伝えてください トイレには必ずご家族が付き添ってください 必要時は看護師が付き添います 症状が出た際、すぐに対応できるようにトイレの鍵は閉めずにお入りください	モニター装着中は看護師に伝えてください	制限はありません
	清潔	ご自宅でシャワー/入浴はできます。	シャワー/入浴はできません		ご自宅でシャワー/入浴はできます。
教育説明その他	風邪症状がある方は入院が延期になる可能性があります。症状がある際は病院へご連絡ください	入院診療計画書が渡されます。確認後、同意のサインを記入の上、医師にお渡しください	試験中または試験後に、 皮膚の症状(かゆみ、じんましん、赤み、目の充血、まぶたの腫れ) 呼吸の症状(咳、くしゃみ、ゼーゼーする、のどが詰まる感じ、息苦しさ) 胃や腸の症状(腹痛、嘔吐、吐き気、下痢、血便) 循環の症状(血圧の低下、心拍数の増加、手足が冷たい、顔面蒼白) 意識の症状(ぐったりする、意識が朦朧とする、頭痛) 等の症状が見られましたらすぐにお伝えください 	退院後に左記のようなアレルギー症状が見られた場合には病院に連絡してください	
備考					千葉大学医学部附属病院 連絡先043-222-7171 内線6588

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。